

企業版ふるさと納税

# 共助モデル “ベーシックインフラ三豊”

令和5年3月バージョン



香川県 三豊市



# 香川県 三豊市



**7町の対等合併で誕生**

(2006年)

## 人口

61,857人

(2020年) 香川県第3位

男性 29,770人 / 女性 32,087人

## 世帯数

23,083世帯

(2020年)

## 高齢化率

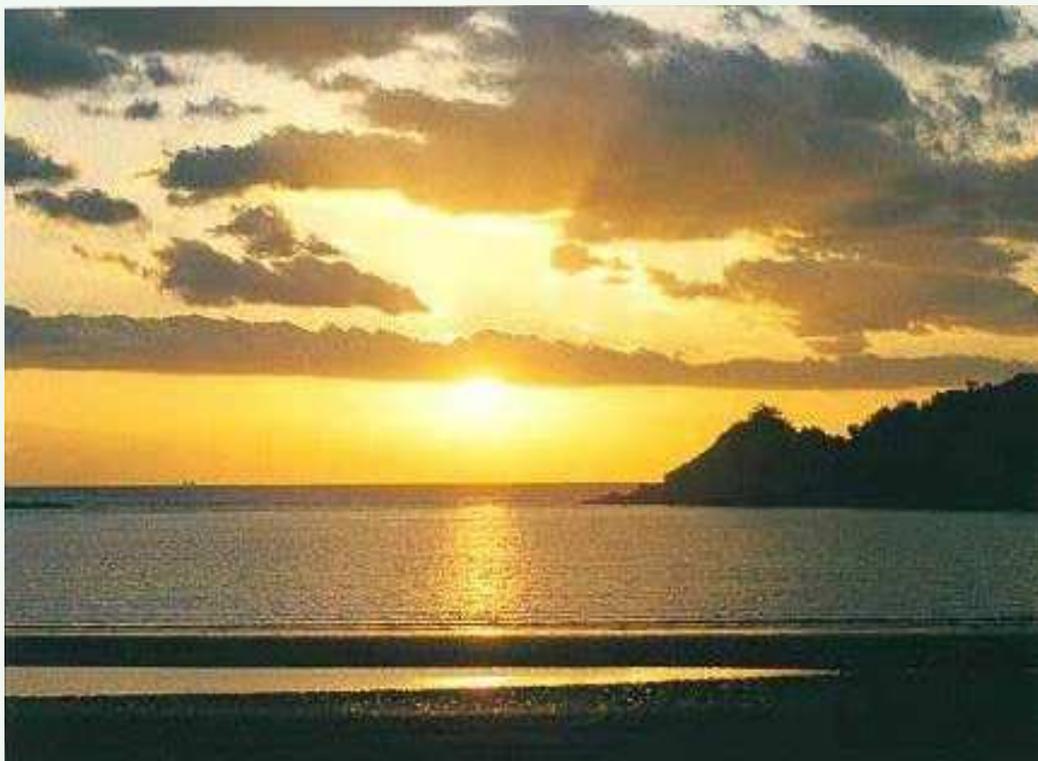
36.5%

(2020年)

## 総面積

222.70 km<sup>2</sup>

(2020年) 香川県第2位



ちちぶがはまかいがん

## 父母ヶ浜海岸

日本の夕陽百選に選ばれた、仁尾町のもう一つのスポット。瀬戸内海有数の干潟としても注目され、渡り鳥の飛来地などにもなっています。

遠浅の浜は、海を楽しむ家族連れにもおすすめ。ここから眺める夕日は、おだやかに海を染め、やさしい夕暮れ時を迎えます。

父母ヶ浜  
来訪者数

2016年

5,500人



2020年

450,000人



夕暮れ時の父母ヶ浜(2022年)





地域社会における**共助**のデザインが重要

人口が減少し、市場が縮小する時代には、  
サービス単独だけで考えるのではなく、地域での「共助」によるサービスで  
暮らしを支えることが重要



# 三豊の共助 これまでの歩み

最初の挑戦 &  
地域内外の人材交流・  
人材育成の始まり



UDON HOUSE

「地域の食文化を学ぶ体験型宿泊施設」をコンセプトに、「食」に関心の高い外国人観光客をメインターゲットとして開業。

地域外の観光専門人材と、地域内のうどんの専門会社によるプロジェクトで、地域の古民家を改装して2018年10月オープン、1年半で国内外50以上のメディアに掲載され、世界20カ国以上から来訪。この小さな成功をきっかけに、地域内外の人材の交流が活発化。

共助による複数の  
地域プロジェクト成功

&

共助でサービスに  
取り組むコミュニティ醸成

&

地域外からの投資、  
地域内外の企業による  
共同の事業開発が活発化



父母ヶ浜

地域の課題

老朽化した公衆トイレなどのメンテナンス費用の増加やサービスの質の低下

解決

地元企業と公園管理のスペシャリスト(地域外の専門企業)、3社でコンソーシアムを作り、パークPFIのモデルで市からの指定管理料を廃止し、市役所へ年間地代を支払う形で運営をスタート。2016年時点で年間5,500人だった来訪者が、2020年には年間45万人まで急成長、成功を収める。



URASHIMA  
VILLAGE

地域の課題

45万人まで来訪する観光地に成長した三豊に、大型の宿泊施設がなく、外資系のホテルの提案もあった。

解決

地元企業1社ではできないが、地域事業者を中心とした11社が自分たちで宿泊施設を設立・運営することを決断。自主投資+地域金融の融資にて、2021年1月開業。2021年度ウッドデザイン賞の最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞。初年度から年間約5,000人の宿泊者を受け入れる成功モデルに成長。



瀬戸内暮らしの大学

地域の課題

地域の高等教育がないことや、少子化による学校の統廃合で、部活動なども縮小。社会人のキャリアアップの場も不足。

解決

地域内外の企業18社にて暮らしの大学を設立。年間50クラスの運営予定。延べ2000人の受講生を予定。

他、多数の地域プロジェクト

共助コミュニティを土台に、  
地域のベーシック  
インフラサービス提供

本事業で、地域住民に対するベーシックインフラサービスの提供を開始する。  
各サービスの事業者(=地域住民)同士が、共助によってサービスを開始・運営していく  
コミュニティが土台となり、複数サービスの連携が実現する。

A

取り組み (施策、サービス提供)

B

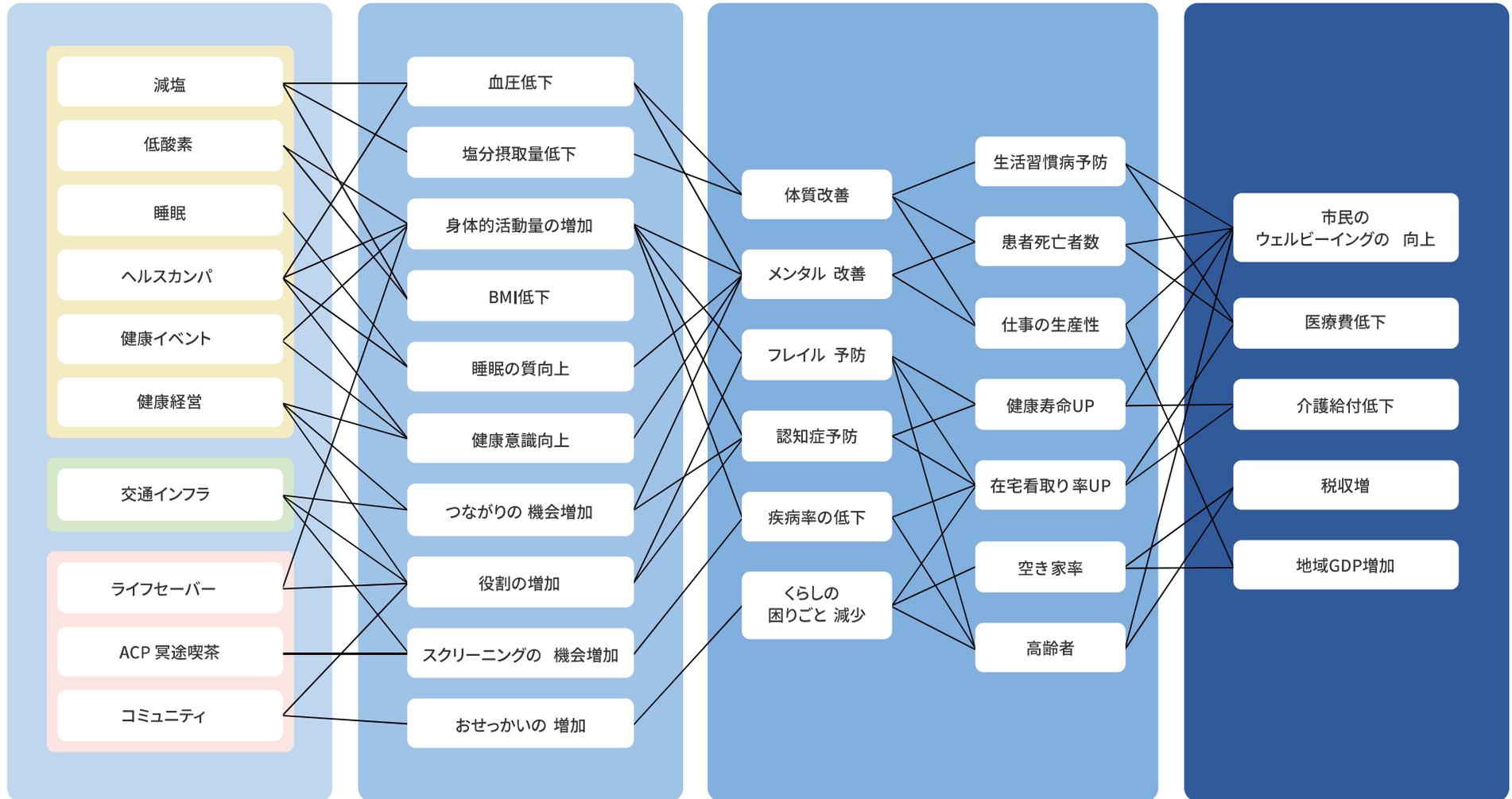
住民生活の変化

C

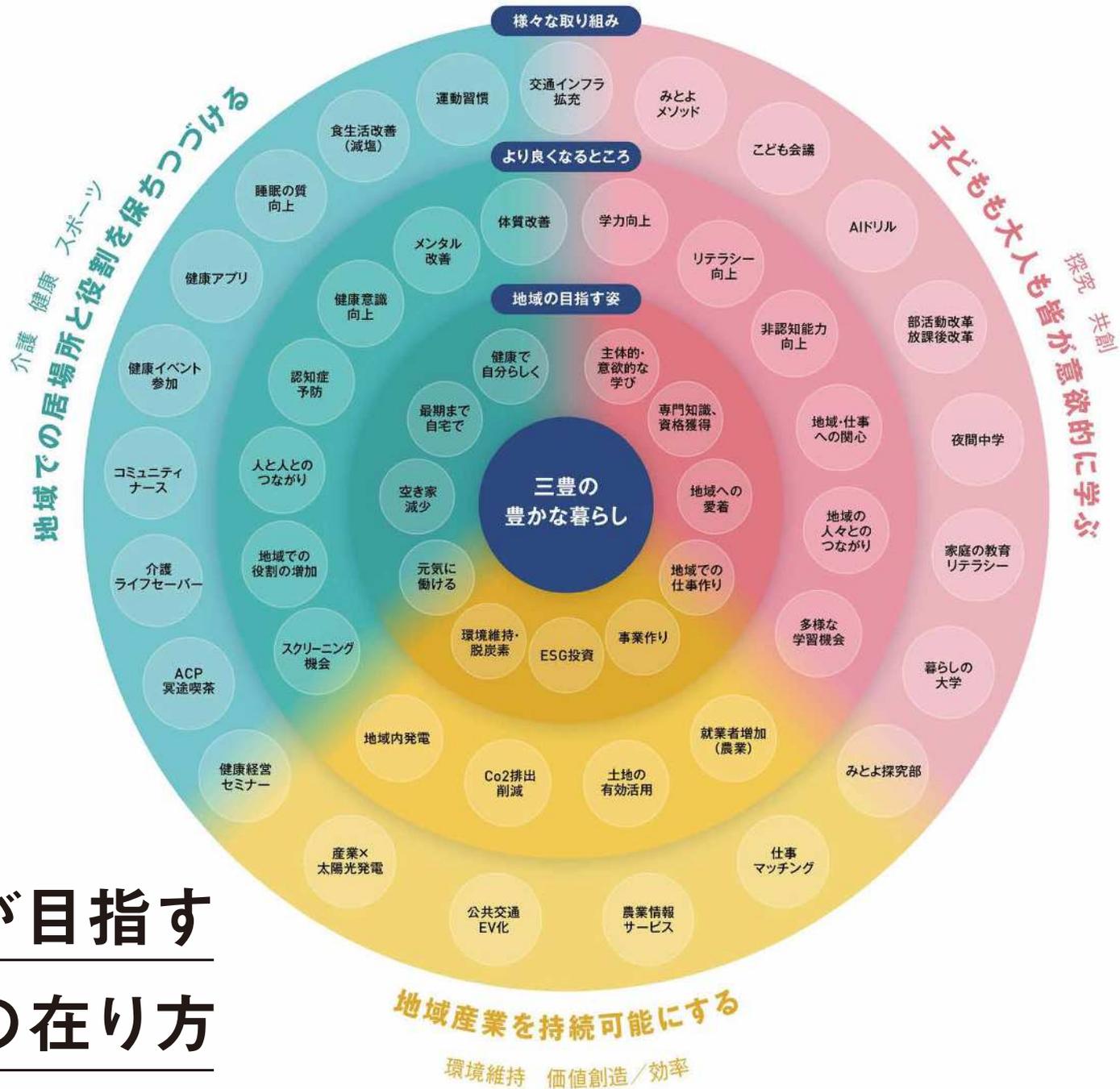
住民の状態の変化

D

行政へのインパクト



健康 交通 介護



# 三豊が目指す 地域の在り方

# ベーシックインカム



# ベーシックインフラの時代

安心な暮らしに必要なインフラを提供する

# 全国どこでも誰もが 便利で快適に 暮らせる社会を目指して



現在、地方は、人口減少や少子高齢化、産業空洞化など様々な社会課題に直面しています。

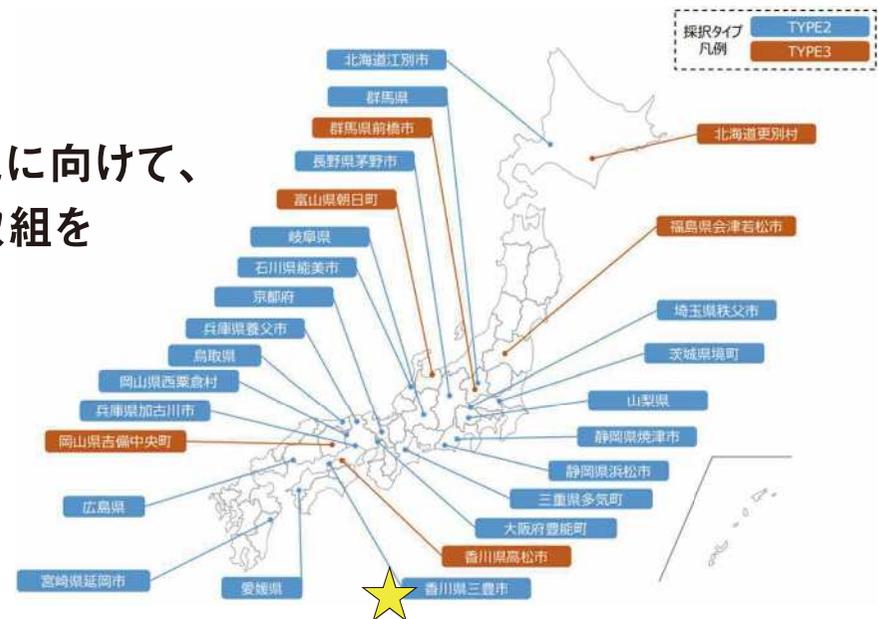
デジタルは、こうした社会課題を解決するための鍵であり、新しい付加価値を生み出す源泉です。

デジタル田園都市国家構想は、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ります。

そして、「地方に都市の利便性を、都市に地方の豊かさを」を実現して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指します。

政府が掲げる「**デジタル田園都市国家構想**」の実現に向けて、  
デジタルを活用した、意欲ある地域による自主的な取組を  
国が交付金により支援する制度

**三豊市が採択されています。**



令和2年三豊市が策定した「第2期三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進計画」で掲げた4つの基本目標を達成するために、ベーシックインフラを推進していきます。

ひとが「育つ」みとよ

ひとを「守る」みとよ

ひとが「出会う」みとよ

ひとが「創る」みとよ

### ひとが「育つ」みとよへ

- AI・デジタル人材の育成  
独自の子ども向けプログラミング教室の開催、香川高専との連携など
- 学びの支援・機械創出  
給付型奨学金による支援、中学校夜間学級での学びの機械創出
- 産前から子育て期の一貫支援  
成長段階に応じた包括的な支援

### ひとを「守る」みとよへ

- 災害に備える強靱なまちづくり  
建築物の耐震強化、自主防の育成
- 新たな移動手段、通信網の導入  
地域特性を生かし、拠点の機能・役割を明確にしたエリアマネジメント
- 未病・予病への取り組み  
医療データを活用した健康づくりによる、健康増進の推進

### ひとが「創る」みとよへ

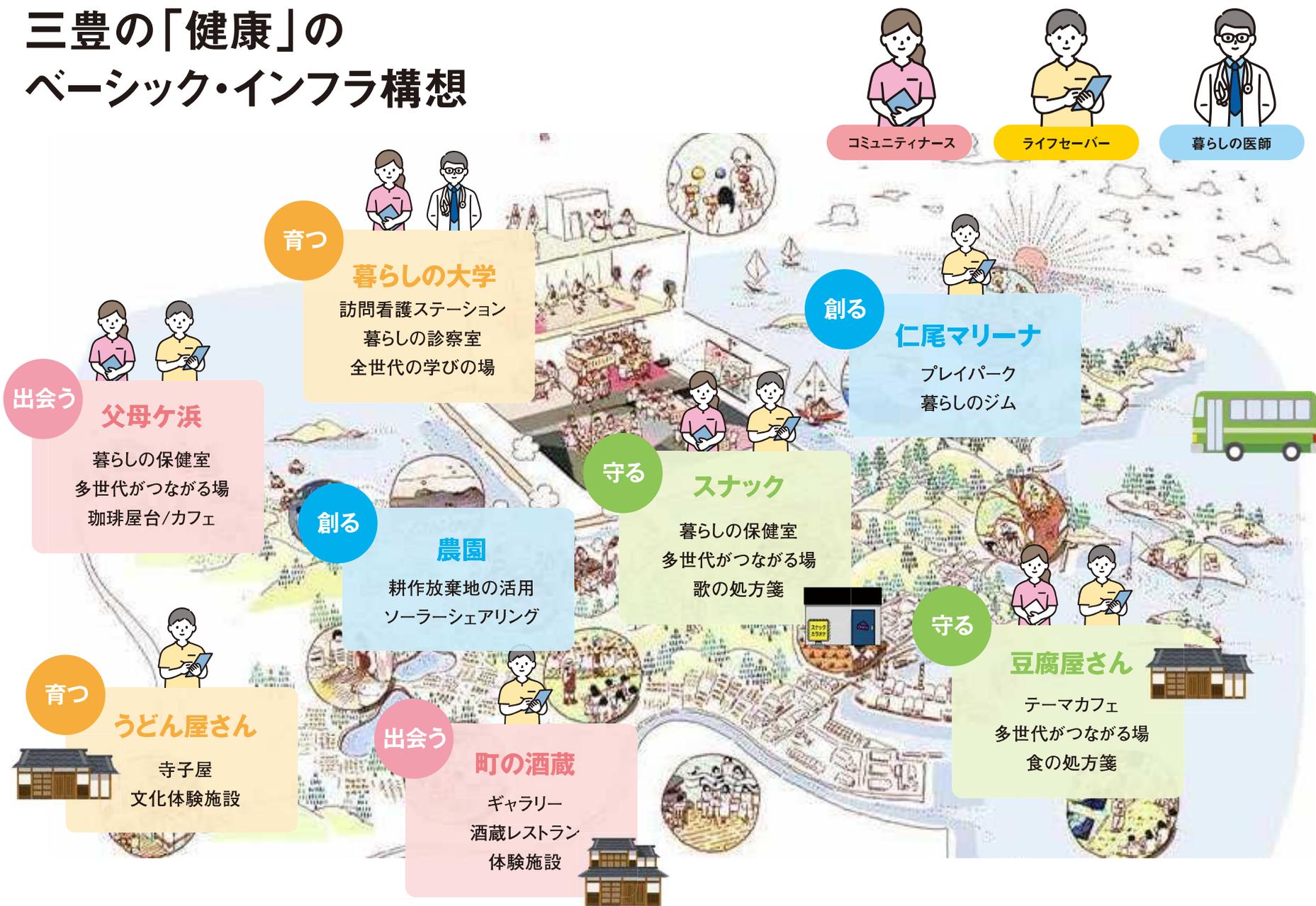
- 魅力ある農業の実現  
先端技術の活用や薬用作物等の高付加価値化による農業の産業化
- 挑戦への応援  
スポーツ、文化、まちづくり、創業等  
市民や事業者が取り組むさまざまなチャレンジを積極的に応援

### ひとが「出会う」みとよへ

- 魅力を生かした観光振興  
三豊市内の自然資源、拠点を生かし、滞在型・回遊型の観光の促進
- 関係人口の創出  
三豊のPRと来訪者を増やす取り組みにより、  
知る・訪れる・移り住むといった関係人口の増大を推進



# 三豊の「健康」の ベーシック・インフラ構想



三豊の「健康」のベーシック・インフラを構築するための、ライフセーバーやコミュニティナースを増やしていく活動に活用します

# 暮らしの「ライフセーバー」普及事業

暮らしの「ライフセーバー」普及事業は、地域の中で活躍するライフセーバーの担い手を増やし、活躍の場を広めていくものです。  
ライフセーバー講座の運営や普及啓発活動に寄付を活用させていただきます。

## 暮らしの「ライフセーバー」って

- これからますます進んでいく少子高齢化社会において、不足していく介護施設や介護人材を、地域まるごと介護力をつけて支えて行こうという考え方で、その役割を担うプレーヤーのこと
- ライフセーバーは、一定の「介護」するための知識やスキルを身に付け、介護的な視点で地域のハンディキャップのある人々を支えていく人材
- 瀬戸内暮らしの大学が提供する「暮らしのライフセーバー講座」を受講した方に、認定していく仕組み
- 「暮らしのライフセーバー」はどなたでもなることができる



### 活躍の場面 1

#### 地域の移動をサポート

地域での日常の移動の場面(買い物、公共交通機関での移動、通院など)で、車いすの移動サポートや、歩行のサポートなどちょっとした移動のお手伝い

### 活躍の場面 2

#### 日常生活をサポート

日常生活でのちょっとした困りごと(行政手続き、買い物、mobiの予約、スマホの使い方など)を、当事者の視点でサポート

### 活躍の場面 3

#### 地域の見守りの輪

- これから増えていく認知症などの認知機能や身体機能が低下しても、安心して暮らしていくための、見守りの目として、活躍できる
- ちょっとした危険を未然に防いだり、何かあった際の迅速な支援が地域のセーフティネットになる

### 活躍の場面 4

#### 小さな障がい乗り越える

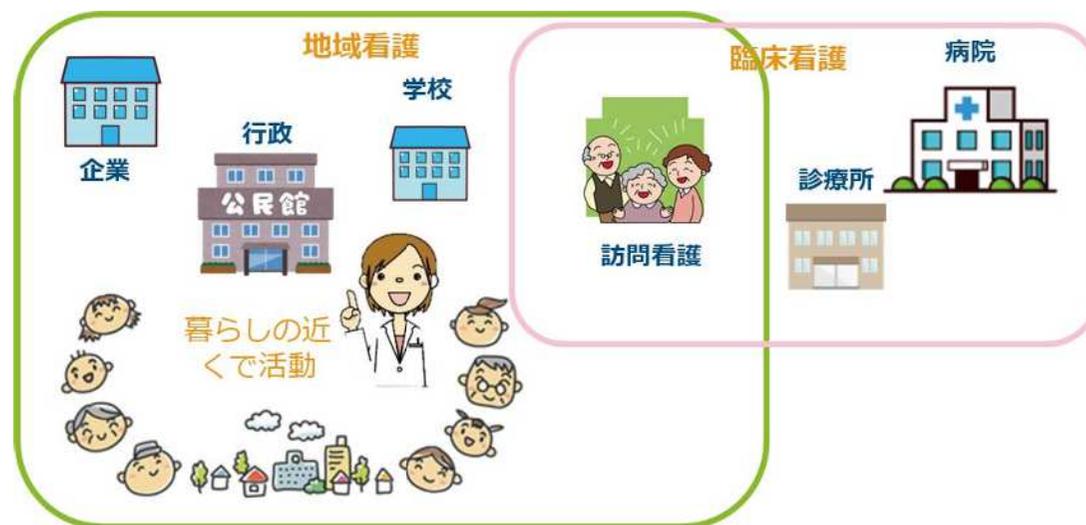
- ちょっとしたサポートがないことで、利用することが難しいサービスや施設などが地域にはたくさん  
段差のあるお店、タクシーの乗車、
- トイレの利用や、読みにくい案内などを、介護的な視点やサポートすることで乗り越えて行く

# 「コミュニティナース」普及事業

「コミュニティナース」普及事業は、地域の中でコミュニティナースが活動していくための、「価値を持つ」専門家を育成し、活動する「暮らしの保健室」のような場と接着していくための活動に寄付を用います。

## 「コミュニティナース」って

- 病院や診療所・訪問看護などの臨床現場ではなく「暮らしの身近な場所」で活動する看護的な視点を備えた人材が持つ「価値観」
- 地域の人暮らしの身近な存在として『毎日の嬉しいや楽しい』を一緒につくり、『心と身体の健康と安心』を実現。その人ならではの専門性を活かしながら、多様なケアを実践 (Community Nurse Company 株式会社の定義を踏まえて加筆)。



### 暮らしの保健室 1

#### 暮らしの大学

地域の学びのキャンパスである暮らしの大学キャンパス併設で、いつでも学んで聞ける健康と医療のこと

### 暮らしの保健室 2

#### 父母ヶ浜

地域のボランティアがあつまる場所で、活動の延長線上で健康と医療を身近にするきっかけ

### 暮らしの保健室 3

#### 小売店/専門サービス

地域の小売店や専門サービス店などの日常的に通う場所で、健康や医療的な視点での見守りや悩み相談

### 暮らしの保健室 4

#### カフェ/スナック

いつもの自分でいられる場所で、医療者と何気なく深められる命や健康のこと

暮らしの保健室は、地域の中のあらゆる場面に、「医療的な視点」で見守りやおせっかいをする場を創り出します

# 市民向け健康増進事業

市民向け健康増進事業は、健康の柱となる食・運動・睡眠それぞれを改善し、またそれを計測することで市民のウェルビーイングを向上させる事業です。市民の継続的な健康のために寄付を活用させていただきます。

## 食プロジェクト

- 「うどん県」として高血圧の多い三豊市民に対し、塩分量を2.5g未満に抑えた健康なお弁当を開発・提供します。
- 2022年度の事業では、〇〇といった効果がありました。

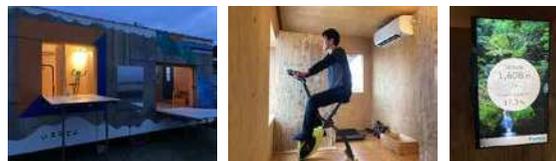


### 寄付のメリット

地域における共同で実証実験企画、減塩商材のPR、など

## 運動プロジェクト

- 低酸素下でのトレーニングは通常のものより負荷がかかるため、短時間で同等の運動効果が得られ、またアンチエイジングにも寄与すると言われています。父母ヶ浜に低酸素のブースを設置することで、三豊市民に手軽に運動していただきます。
- 2022年度の事業では、〇〇といった効果がありました。



### 寄付のメリット

地域における共同で実証実験企画、運動に関する商材のPR、など

## 睡眠プロジェクト

- 働く合間に仮眠をとることで、仕事の効率が向上し、ワーカーの幸福度も向上すると言われています。仮眠に限らず、睡眠の習慣、睡眠時無呼吸症候群までをレクチャーする、睡眠のセミナーを実施し、睡眠改善を促します。
- 2022年度の事業では、〇〇といった効果がありました。



### 寄付のメリット

地域における共同で実証実験企画、睡眠に関する商材のPR、など

# 市民向け健康増進事業

市民向け健康増進事業は、健康の柱となる食・運動・睡眠それぞれを改善し、またそれを計測することで市民のウェルビーイングを向上させる事業です。市民の継続的な健康のために寄付を活用させていただきます。

## ヘルスエンターテイメント

- みとよヘルスカンパニーは健康活動をモニタリングして、健康活動を頑張れば頑張るほどポイントが付与され、「健康役職」が上がっていくアプリです。更に、健康役職が上がれば上がるほど、インセンティブが付与されます。楽しく健康になるためのアプリです。
- 現在、〇〇人の登録があります。イベントを企画する、アンケートで健康意識を調査する、健康に関する情報を発信する、など、地域の健康のプラットフォームとして運営します。



### 寄付のメリット

地域における共同で実証実験企画、イベント共同企画・宣伝、など

## 体力測定イベント

- 地域で体力測定イベントを実施します。日常で培った皆様のカラダの仕上がりを測定、また競い合うことで、市民の方の健康を増進させます。



### 寄付のメリット

イベント共同企画、商材のPR、など

# 企業向け健康経営推進事業

企業向け健康経営推進事業は、三豊市内の企業向けに健康経営を普及させ、社員のウェルビーイング向上を目指す事業です。  
企業の持続的な発展のために寄付を活用させていただきます。

## 健康経営セミナー・イベント

三豊市内企業の健康経営の普及・啓発、社員のウェルビーイング向上を目的とした健康経営セミナー・イベントを開催します。  
2022年には全4回の健康経営セミナーを実施し、〇〇といった効果がありました。

## 会社向け健康プログラム

市民向け健康増進事業にあるような介入プログラムと、健康を測定するためのデバイスをセットで提供することで、社員の健康を増進します。

## 三豊市健康経営倶楽部の設立

三豊市内企業の健康経営の更なる普及・発展を目指し、健康経営に関して社外交流のためのプラットフォームをつくります。



### 寄付のメリット

健康経営のPR・イベント共同企画、  
社内の健康経営推進、など

### 寄付のメリット

健康経営のPR・プログラム共同企画、  
社内の健康経営推進、など

### 寄付のメリット

健康経営のPR・イベント共同企画、  
社内の健康経営推進、など



# みとよ探究部

## みとよ探究部 とは？

三豊市の中高生が地域の課題解決や魅力発信をテーマに探究する部活動

- 1 マイプロジェクト:部員が自分の情熱やこだわりを元にしたプロジェクトを大学生メンターの支援を受けながら進める。
- 2 まちあるき:地域の大人と一緒に町を歩き、その人生やビジョン、町の見方を体感するフィールドワーク  
「離島の交流人口を増やす」「アライグマによる生態系破壊を止める」「住民運動会を開く」など部員たちは各自様々なテーマで活動中。  
7つの学校から、中1から高3まで、11名が所属(2023年1月現在)

## 事業目的

- 1 現代社会に求められる学力の育成(問題解決力、コラボレーション力、知的好奇心、プレゼンテーション力など)
- 2 地域資源を生かした探究学習のモデルの創造
- 3 新しい部活動スタイル(学校を問わず参加できて、専門家が指導し、探究的な学びが深まる部活動)のモデルの創造



## 今後の展開

- 1 大学生メンターを増員し、部員規模を拡大。
- 2 探究部を題材にした教員研修で、学校にも同様の探究学習を実装。

## お返しできる 価値

- 1 次の社会を創造する人材の育成
- 2 学習コンテンツでのタイアップ 例:企業の取り組みを題材にしたフィールドワーク

／小さな賢者たちの／  
世界一おかしくて、世界一だいじな会議

# こどもかいぎ

## IN 三豊

「こどもかいぎ」って？

子どもたちが輪になって自由に話し合うこと



1 5～6人の子どもたちで行う



2 様々なテーマについて話し合う



3 自由になんでも発言してよい



4 お友達の話していることを聞く



5 先生は進行役としてサポート



6 答えはなくてもいい

## 子ども達の多様な力を育てるコミュニケーション型プログラム

### 『こどもかいぎ』は 「未来をつくる魔法の杖」。

『こどもかいぎ』をしている間、子どもの頭の中では、お友達の意見を聴いて多様性に気づいたり、自分の考えを言葉にしてみたりと、  
聴く力、話す力だけでなく、理解力、思考力、表現力、  
発想力、想像力、創造力など、非常に多様な力が育っ  
ていきます。



子どもたちの頭の中でおこなわれていること

# 「こどもかいぎ」で伸びる10の力

子どもたちが対話をする中で、  
子どもたちの様々な力が伸びると考えられています。



## 1. 聞く力

- 他の人の話をしっかりと聞くことができるようになる
- 相手が話している時に待つ力、集中力が身に付く

## 2. 理解する力

- 話の内容を理解する力が身に付く
- 自分と違う意見への寛容さや共感性が育まれる
- 自分なりの考えが浮き彫りになる

## 3. 考える力

- 自分で考える力
- 習慣が身に付く
- 新たな発想や考え、好奇心が生まれる

## 4. 表現する力

- 話の内容を理解する力が身に付く
- 自分と違う意見への寛容さや共感性が育まれる
- 自分なりの考えが浮き彫りになる

## 5. 繋がる力

- みんなで考えると、より良い解決方法が見つかることに気がつく
- 語り合うことで、信頼関係が強まる

## 6. 自己を肯定する力

- 『かいぎ』の空間が「居場所」になることで、聞いてもらえる安心感や自己肯定感、自尊心が育まれる
- 自分の発言を受け入れてもらえる「精神的スキンシップ」の積み重ねで、自己受容と自己理解が深まる

## 7. 他人に共感する力

- 色々な人の話を聞くことで、自分と同じ考えがあることや自分とは違う意見があることを知り、共感性や多様性が育まれる

## 8. 問題を解決する力

- 対話によって、お互いの違いを認識するだけでなく、擦り合わせ、妥協点を見つけるなど、暴力や攻撃的なコミュニケーションに頼らない方法で、現状を改善する力が育まれる

## 9. 新しい価値を創造する力

- 話し合う中でお互いのアイデアをぶつけ合うことで、「1+1=3」になり、一人で考えているだけでは生まれなかった、新しい価値や仕組みを創造する力にもつながる

## 10. 正解のない社会を生き抜く力

- 時代は急速に変化してゆき、「正解」だったものが数年後には「不正解」にもなりうる新しい時代においては、自ら思考するだけでなく、周りとの対話によって、情報とアイデアを交換し、「最善の策」を導く力が求められる

## 『こどもかいぎ』に期待する3つの効果

1

### 子どもの中に多様な力を伸ばす可能性

自分の考えを言葉にし、お友達の意見に耳を傾ける経験の積み重ねによって聞く、話すなどのコミュニケーション力だけでなく、理解力、集中力、思考力、表現力、発想力、想像力、創造力など、子どもたちの中に眠っていた様々な力が芽生えるきっかけとなります。

2

### 子どもを取り巻く様々な問題を改善する可能性

虐待、いじめ、貧困、うつ、自殺・・・このような子どもを取り巻く問題を考える時、「言葉でうまく気持ちを伝えられない」「周りに助けを求められない」「相談できない」という課題が共通して出てきます。

『こどもかいぎ』をする機会が日常的にあれば、自分の「気持ちを言葉にする力」が伸びていきますし、自分のことを話す習慣ができることで、相談をすることも容易になり、SOSもキャッチしやすくなります。

「助けてほしい」を「見える化」できれば、改善できる子どものリアルはたくさんあるはずですよ。

3

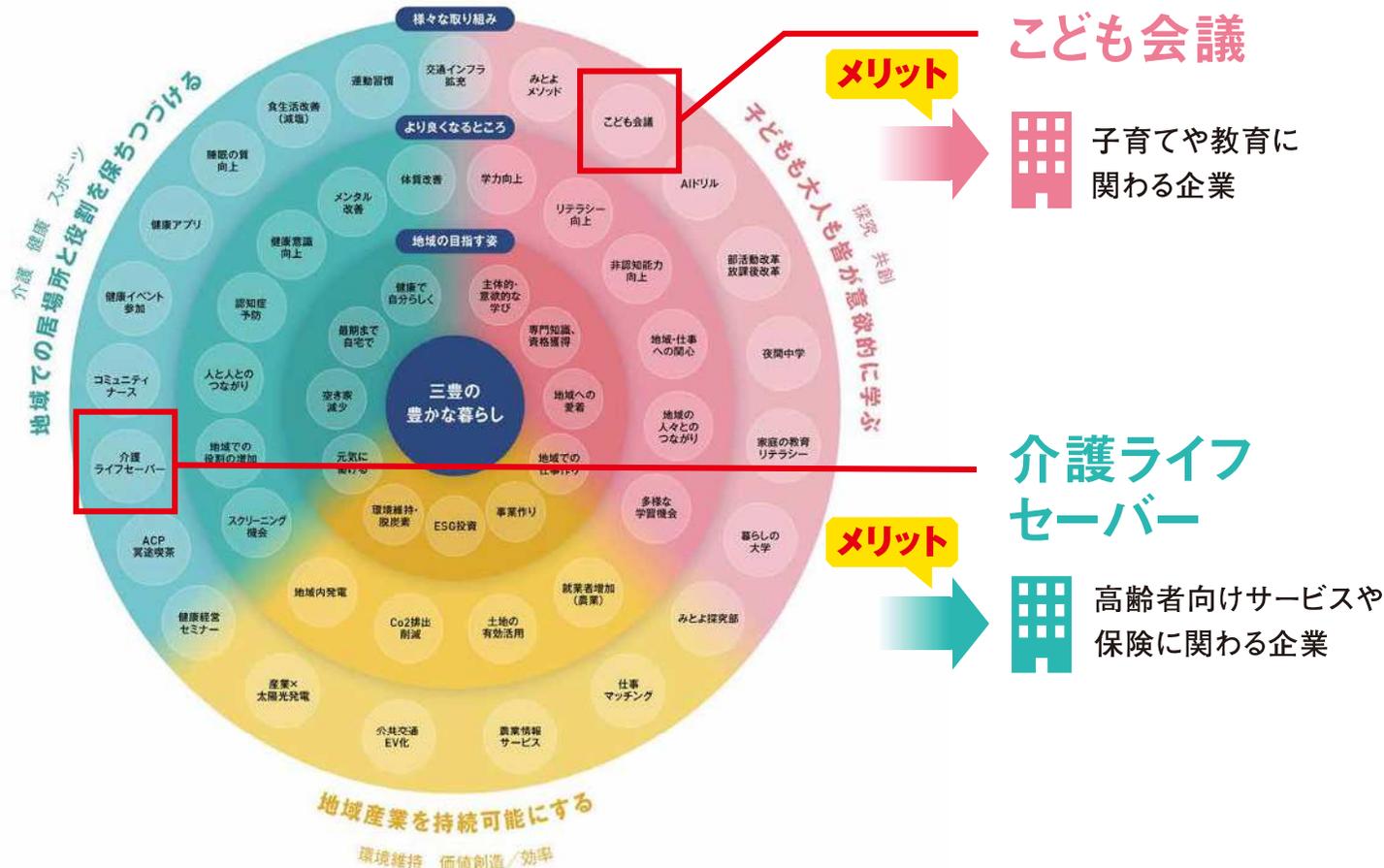
### 将来的な社会問題の予防になる可能性

「ことば」で伝えられないと、暴力もしくは暴言に訴えてしまうことが、残念ながらよくあります……よね。

「ことば」で伝えられないと、ストレスが溜まり、孤独感を覚えやすくなります。しかし、「ことば」で説明できるようになると、互いに分かりあえることが増え、精神的にも落ち着きやすくなり、争いが少なくなります。子どもの頃から話を聞いてもらえる場所や対話をする習慣があることで、問題解決において「話し合う癖」が付くため、暴力や暴言に頼ることが減ることも予想されます。

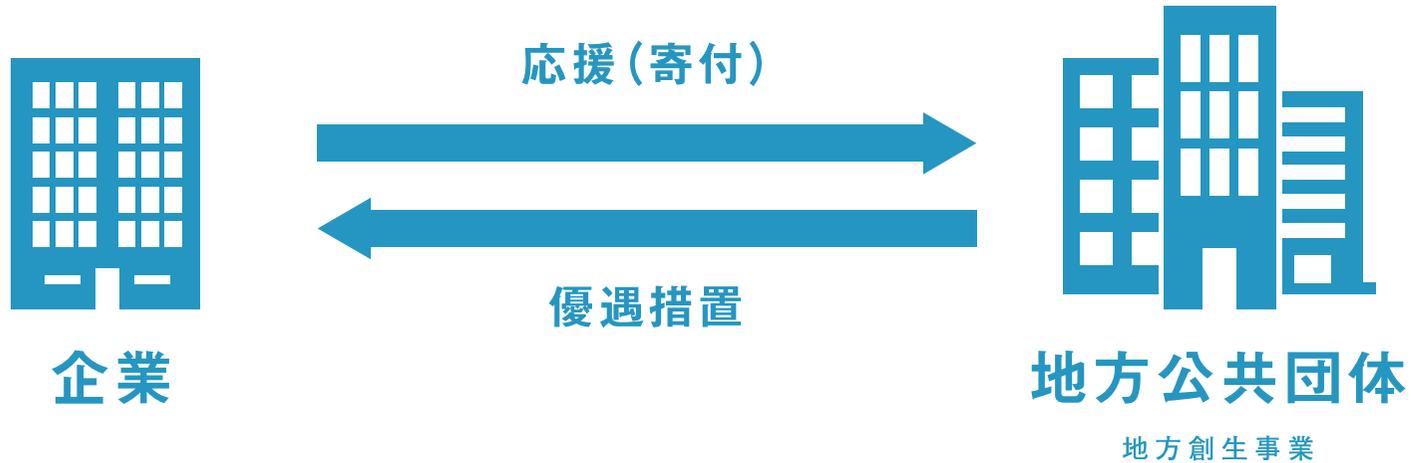
# 様々な取り組みを、三豊と一緒に始めませんか？

- ✓ 貴社にとっては、新しいサービスや技術を共創によるR&Dの場として
- ✓ 三豊市民にとっては、豊かな暮らしの向上を共助で生み出すために



取り組みが実際に  
もたらした効果を、  
データ・レポートとして  
提供します

# 企業版ふるさと納税



## 企業にとってのメリット

### 社会貢献

企業としてのPR効果  
(SDGsの達成など)



三重市はSDGs未来都市に選定されました。

法人関係税額が

最大9割軽減

地方公共団体との新たな

パートナーシップの構築

地域での新サービスなどの  
実証R&Dの場として

企業のイノベーション人材の  
教育機会の場として

# お問い合わせ先

- ベーシックインフラ三豊の事業内容について  
三豊市役所 政策部 地域戦略課  
TEL : 0875-73-3011  
E-mail : [chiiki@city.mitoyo.lg.jp](mailto:chiiki@city.mitoyo.lg.jp)
- 企業版ふるさと納税について  
三豊市役所 政策部 財政経営課  
TEL : 0875-73-3010  
E-mail : [zaisei@city.mitoyo.lg.jp](mailto:zaisei@city.mitoyo.lg.jp)